

10月22日 旬の味覚が並ぶ 秋の朝市「きのこまつり」

10月22日、朝市通りで秋の朝市「きのこまつり」を開催しました。秋の朝市「きのこまつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、昨年と一昨年を中止としており、今回が3年ぶりの開催となりました。当日は、ナメコやアマタケ、アケビ、栗などを販売するお店や、雑貨や小物、お菓子のお店など、64店の出店がありました。また、だまこ鍋やだまこそば、味噌たんぼ、なめこ汁などの販売も行われ、旬の味覚を求め、多くの方のご来場がありました。



ナメコやアマタケなどのほかに、だまこ鍋やなめこ汁の販売が行われ、旬の味覚を求め、多くの方のご来場がありました。

10月27日 県中部地区郵便局長会から電源装置が寄贈

10月27日、県中部地区郵便局長会から本町へ、災害時などに使用するポータブル電源装置2台が寄贈されました。同会は、町社会福祉協議会と「災害等のボランティア確保の連携・協力に関する協定」を結んでおり、本年8月の豪雨災害時には、物資の貸与や寄贈のほかに災害ボランティアを延べ67人派遣するなど、現地での復旧に向けた支援活動にご尽力されました。岡部正彦会長（秋田牛島東郵便局長）は、「今回の災害時には、ポータブル電源装置がとても役に立った。そういった際などの補助電源として活用いただければ幸いです」と、お話ししていました。



町役場で贈呈式を行い、県中部地区郵便局長会の岡部会長から渡邊町長へ、寄贈品の目録が手渡されました。

10月30日 川堤地区の山林で秋田杉の植樹体験を実施

10月30日、富津内川堤地区の山林で、「家族で秋田スギ植樹体験会」を実施しました。植樹会は、本年4月に千代田区との間に締結した、「脱炭素社会の実現に向けた協定」の取り組みの一環として、子どもたちが森林を身近に感じ、楽しみながら自然の恵みについて考えるきっかけにしようと実施しました。当日は、千代田区のこども交流会支援員や町内の親子、町緑化推進委員会事務局ら14人が参加し、秋田杉の苗木を植樹しました。参加した門間翔平さん（五城目小4年）は、「山を歩くのは初めてで大変だった。今回植えた苗木が大きく育つのが楽しみ」と、感想を話しました。



脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、川堤地区の山林で秋田杉の植樹を行いました。

11月7日 3つの森林組合が合併へ向け予備調印

11月7日、男鹿、五城目、湖東の3森林組合の「合併予備契約調印式」が町役場正庁で行われました。式には、3森林組合や管内市町村長ら約70人が出席。合併推進協議会会長を務める渡邊町長が「合併を機に、これまで以上に組合員の森林経営の向上と林業を通じた地域の発展に貢献できれば」とあいさつをした後、3組合の組合長が予備契約書に署名と押印を行いました。この合併は、経営基盤の強化を目的として、本年5月に合併推進協議会を設置し協議を重ねてきました。11月24日には、各森林組合の合併臨時総会で議決され、令和5年4月3日から合併することとなります。



管内市町村長らが立ち会いのもと、男鹿、五城目、湖東の3つの森林組合の合併に向けた予備調印が行われました。



バドミントン選手と一緒に 応急手当の方法を学ぶ

11月14日、町消防本部が取り組む「応急手当教育プロジェクト」の一環として、五城目小学校5、6年生を対象に応急手当講習を実施しました。子どもたちは、町消防本部の職員から119番通報の仕方や応急手当の方法を学び、いざというときに命を救うための知識や技術を身に付けました。また、応急手当講習には、北都銀行バドミントン部の選手ら6人も参加。最後には、バドミントン教室を通じて子どもたちと触れ合いました。



1町消防本部の職員が指導役を務め、実演を交えながら119番通報の仕方などを説明 2北都銀行バドミントン部の選手たちと一緒に、胸骨圧迫などを実践しながら、応急手当への理解を深めました 4最後はバドミントンで選手と交流



町内から9つの事業所等が出展した「KOUGEI EXPO in AKITA」。初日となった18日には、町観光物産協会主催の視察ツアーが実施され、会員の方々が会場へと足を運びました。

「KOUGEI EXPO in AKITA」に 町内から9つの事業所等が出展

11月18日から20日にかけて、秋田市を会場に「KOUGEI EXPO in AKITA（第39回伝統的工芸品月間国民会議全国大会）」が開催されました。町内からは、3つの部門に合わせて9つの事業所等が出展し、来場者へそれぞれの逸品などを披露しました。【町内からの出展（部門別）】 ▶秋田の郷土工芸品展 尙永澤弓具、御矢師 永澤明久、五城目木工(尙)、木工興真、小玉建具店 ▶工芸クラフト作家展 三温窯、佐藤木材容器、すずなり、WOOT家具 ▶工芸品ワークショップ 小玉建具店

消防団教養研修会を実施し 災害対応力の強化を図る

11月6日、町消防団員など40人が参加のもと、町消防本部で「消防団教養研修会」を実施しました。研修会では、町消防本部の職員が講師を務め、本年8月に発生した豪雨災害などを事例に、各管轄区域の河川や地域の危険な箇所、避難情報の発令基準について改めて理解を深め、大雨による河川の増水時などの対応力強化を図りました。



町消防団員ら40人が参加し、大雨による河川の増水時に危険となる箇所やその時の対応について理解を深めました。